

森林環境保全学特論実験 (2単位)

担当者氏名 中村幸人・矢口行雄・武生雅明・福永健司

◆学習・教育目標

指導教員による指導内容および指導に要した時間数の記録を行い、森林環境保全学の実験の習熟の程度を重視した教育を行なう。教育目標は森林環境保全学の座学をもとに実験による知識と技術力を高めることである。実験のためのフィールドには奥多摩演習林、秩父分集林、富士農場も含まれる。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

森林系 生態系 生物多様性 持続的利用
治山砂防 緑化 モニタリング 土砂移動

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	ガイダンス	森林環境保全学特論実験では、野外や演習林における現地調査を通して、森林型と成立要因の対応を理解する。さらに攪乱など、森林が崩壊したあとの動態については方形区調査などを行い、遷移、物質生産、生物多様性の変化などを比較する。また、無植生地や崩壊地において地質、表層地質、地すべり現象などを調査し、人工地盤による整備、緑化による生態系の回復のための技術やモニタリング手法を実施する。さらに植栽や播種による成長実験、人工地盤の造成実験なども行なう。	野外の方形区調査、実験棟における植栽・播種実験等により、森林環境保全学を習熟する。
2	方形区調査/植栽・播種実験(1)		
3	方形区調査/植栽・播種実験(2)		
4	方形区調査/植栽・播種実験(3)		
5	方形区調査/植栽・播種実験(4)		
6	方形区調査/植栽・播種実験(5)		
7	方形区調査/植栽・播種実験(6)		
8	方形区調査/植栽・播種実験(7)		
9	方形区調査/植栽・播種実験(8)		
10	方形区調査/植栽・播種実験(9)		
11	方形区調査/植栽・播種実験(10)		
12	方形区調査/植栽・播種実験(11)		
13	方形区調査/植栽・播種実験(12)		
14	予備日		

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）
担当教員より事前に周知する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）
担当教員より事前に周知する。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

出席状況を鑑みて、レポート等により評価を行う。

◆その他受講上の注意事項